

## 医福食農連携で高齢者の低栄養予防に資する健康支援型配食サービス

高知県計画推進課 × 一般社団法人在宅栄養ケア推進基金

### 取組概要

一般社団法人在宅栄養ケア推進基金は、大手配食サービス事業者の株式会社シニアライフクリエイトと連携し、同社と高知県ならびに土佐清水市は包括連携協定を締結し、高齢者の低栄養予防に資する健康支援型配食を整備する一方で、コロナ禍で販売不振に陥った農水畜産物を同社が買取り、配食メニューへ組み入れ全国販売することで、一次産業を救済し、地域活性化に繋がりました。



医福食農連携による健康支援型配食サービス

### 基本情報

代表地方公共団体	高知県計画推進課
代表民間団体	一般社団法人在宅栄養ケア推進基金
他の連携団体等	株式会社シニアライフクリエイト、メディカル調剤株式会社、セイコーメディカルブレン株式会社、日本調剤株式会社、有限会社四国メディカルサポート、株式会社大屋、JA高知県
カテゴリ	健康増進／農林水産業振興／移住・定住
事業費	整備期間は1年間、事業費用は約500万円
めざすSDGsゴール	
事業化までの期間	事業化までの期間は1年間

### 取組内容



低栄養予防に資する健康支援型配食サービス

この取組で解決した課題	①高齢者の健康寿命延伸（低栄養予防に資する栄養ケアサポート薬局と健康支援型配食サービスの整備）、②コロナ禍で困窮する農水畜産業者の救済（販売不振に陥った農水畜産物を買取り、配食メニューへ転化することで、一次産業の再興に貢献）、③高知県が推進するNext次世代型施設園芸農業の活性化（機能性野菜の購買、商品化）、④高齢者のフレイル対策に資するコミュニティの創出（昭和浪漫倶楽部）、⑤医福食農連携の推進（機能性食品や介護食品の開発・普及、障害者等の就労支援など医療・福祉分野と食料・農業分野との連携の取組）、⑥高知県産の農水畜産物の地産外高の促進。
解決に向けた手法	株式会社シニアライフクリエイトとメディカル調剤株式会社、株式会社大屋、日本調剤株式会社、セイコーメディカルブレン株式会社、有限会社四国メディカルサポートなどの保険薬局（調剤薬局）が連携し、高齢者の低栄養チェックと保健指導の下、高齢者の栄養状態・摂食嚥下機能に合わせた配食サービスを行う「健康支援型配食サービス」を体系化し、高知県と土佐清水市と株式会社シニアライフクリエイトが包括連携協定を締結し、コロナ禍で販売不振に陥る農水畜産物を配食メニューとして商品化し、全国10万人の顧客（高齢者）へ供給することで、農業者を救済する地産外高プロジェクトを進め、機能性野菜の購買によりNext次世代型施設園芸農業/高付加価値化プロジェクトの活性化に務めました。そのほか、株式会社シニアライフクリエイトは土佐清水市に高齢者コミュニティサロン（昭和浪漫倶楽部）を創設し、医福食農連携の推進に努めています。これに要した期間は、約1年間。

## 取組詳細

事業推進上の各団体の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一般社団法人在宅栄養ケア推進基金→健康支援型配食サービス、栄養ケアサポート薬局、医福食農連携の整備企画・指導</li> <li>■ 株式会社シニアライフクワイート→健康支援型配食サービス、地産外商プロジェクト、高齢者コミュニティサロンの創出・運営</li> <li>■ 保険薬局（調剤薬局）→栄養ケアサポート薬局として協力</li> <li>■ JA高知県→農業者との調整、農産物の調達</li> <li>■ 自治体（高知県・土佐清水市・高知市）→連携協力</li> </ul>
地域関係者との連携方法	厚生労働省/健康寿命延伸プランに位置付けられる健康支援型配食サービスの体系化を株式会社シニアライフクワイートへ了解いただいた上で、「患者のための薬局ビジョン」に沿い、薬学管理指導で低栄養予防に務める保険薬局（調剤薬局）を体系化し、コロナ禍で販売不振に陥るJA高知県と連携し、農産物の配食メニュー化により農業者の所得増大を図り、低栄養予防を基点とする医福食農連携を整備しました。
資金調達方法	本事業は、CSV（Creating Shared Value：社会的課題に取り組むことで社会的価値を創造し、その結果、経済的な価値を創造する）にて、各々の関係事業者が資金調達しています。
資金調達方法の補足	本事業は、CSV（Creating Shared Value：社会的課題に取り組むことで社会的価値を創造し、その結果、経済的な価値を創造する）の観点で、各々の関係事業者が運転資金を調達しますので、各事業者に顧客獲得・販路創出・収益拡大・社会的地位の向上等の投資メリットを理解いただくための事業周知が工夫する点と考えます。
事業推進上の課題・工夫	当社法人は高知県内の自治体と厚生労働省「高齢者の低栄養防止・重症化予防等推進事業」に参画したことを機に、平成29年度から健康支援型配食サービス、栄養ケアサポート薬局の体系化を進めてきましたが、直近で高齢者の低栄養予防は、介護予防・重度化防止に重要との認識が広まるも、これまで無関心層が大半を占めていました。今回、影響力のある大手配食サービス事業者「株式会社シニアライフクワイート」が、高齢者の低栄養予防に資する健康支援型配食サービスに着手いただいたことで、自治体・医療・福祉・農業者・食品企業・製薬企業等との「医福食農ビジネス連携」の体系化が急伸しました。これまで、ヘルスケア事業は、事業者単独あるいは各業界の縦割りで実施されるケースが大半でしたが、高齢者の低栄養予防は、社会保障費の低減と健康寿命延伸の下、業種・業界の枠を超え、全ての事業者がビジネス連携し、事業メリット（顧客創出・収益増大・社会的地位の向上）を享受できるCSV（Creating Shared Value：）事業であることを周知するための工夫に努めました。

## 担当者のコメント

高齢者の低栄養は、フレイル・要介護リスクとなり、その要因は病気・精神的要因・口腔機能低下・薬の有害事象（多剤併用・重複投与）など多様で、高齢者本人は自覚が無いので、定期的な低栄養チェックの下、高齢者本人の意識変容・行動変容を促すことが重要とされています。そこで、厚生労働省は、高齢者の低栄養防止・フレイル対策に資する「健康支援型配食サービス」を普及すべく、「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドライン」を設けましたが、「配食を利用した健康管理支援」業務は、医療職でない配食スタッフでは担えないため、低栄養予防に資する保険薬局（栄養ケアサポート薬局）との連携を整備しました。そして、低栄養予防が介護予防・在宅医療ケアにつながるとして、医療/福祉関係者との連携がすすみ、低栄養リスク者へ栄養補助食品を供給したい食品企業や製薬企業、機能性野菜を普及したいJAや農業者との連携へと進展しました。低栄養予防は、業種・業界を問わず、健康寿命延伸を基に全ての事業者がビジネス連携できることが実証されたので、持続可能な社会を目指し全国普及することを祈念する次第です。



生涯活躍のまち（オンライン勉強会）

## 優良事例応募項目

取組のポイント（3つの視点）	<p>①地方創生SDGsの視点 高齢者の低栄養予防は、フレイル（虚弱）を予防し、介護予防/自立支援の下、高齢者の社会参加を促しますので、SDGsゴール3（すべての人に健康と福祉を）に直結します。また、健康支援型配食サービスの普及により地域の農水畜産物や機能性野菜/食品の利用が促されることで一次産業が活性化し、高齢者の就労機会が創出されますので、SDGsゴール8（働きがいも経済成長も）に奏効し、地方創生；生涯活躍のまちの形成によりSDGsゴール11（住み続けられるまちづくりを）に寄与します。また、農水畜産物のエシカル消費の下、異業種がビジネス連携し持続可能な社会の創生に資することからSDGsゴール17（パートナーシップで目標を達成しよう）を達成します。</p> <p>②ステークホルダーとの連携 高齢者の低栄養予防（健康支援型配食サービス・栄養ケアサポート薬局）は、各業界の垣根を越え、医療・福祉サイドと食料・農業サイドが戦略的に連携する「医福食農連携」を推進します。</p> <p>③モデル性・波及性 株式会社シニアライフクワイートの健康支援型配食サービスの配食サービス拠点は、全国47都道府県に設置済みであり、連携する栄養ケアサポート薬局も全国普及していますので、全国各地での健康支援型配食サービスの整備が可能となりました。自治体においても、健康寿命延伸プランとして健康支援型配食サービスを計画する自治体が増えるほか、令和6年度「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」で、高齢者の低栄養予防が位置付けられたことで、健康支援型配食サービスに着手しようとする自治体も増えていきますので、今後益々々の波及性が期待されます。</p>
----------------	---